

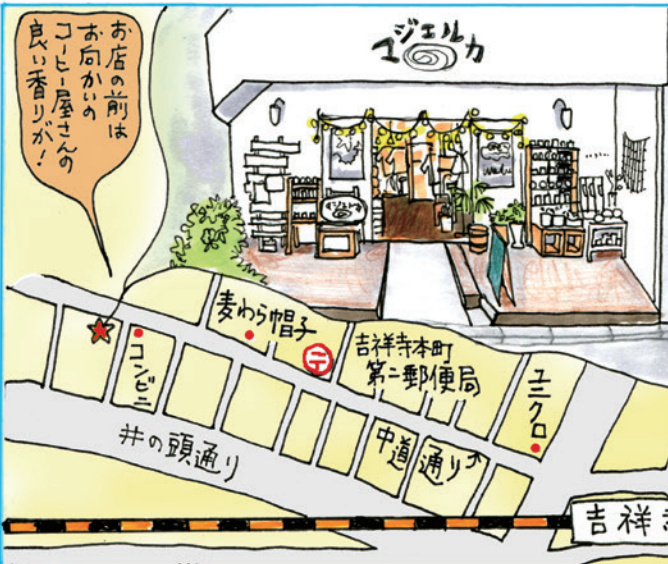
# まじゅる

渋谷区 渋谷

26 吉祥寺中道通り「マジエルカ」へ

吉祥寺中道通りに、おしゃれな雑貨店「マジエルカ」があります。外観にひかれて店内に入ると思わぬ手を取りたくなる魅力的な雑貨が所狭しとレイアウトされていて、どれも欲しくなっちゃいます。実はこのお店、日本にここだけ！という特長があるのです。

マジエルカ  
吉祥寺本町3-3-11中田ビルF



特長① おしゃれ感あふれる雑貨屋さんということ

特長② おしゃれな雑貨屋さんらしさあふれるオーナーということ  
マジエルカのオーナー 藤本光浩さん

特長③ 一点物が多くほかではなかなか手に入らない雑貨が多いこと。個性的かつパワフルな絵柄で存在感大!!

④ ウッドフレーム  
デコパージュでエレガントに

⑤ 羊毛フェルトの馬  
1点物が多いためここに描いてあっても売ってあげてもかまいません

⑥ 岡山の有名な帆布バッグと同じ素材で縫製も丁寧!!  
↑裏地がかわいい

⑦ 皮製品  
いろいろ

⑧ Tシャツ  
個性あふれるパワフルな絵柄で存在感大!!

⑨ アクセサリー  
雷バッグ  
なんともお米の袋とテーパーでできたバッグ

⑩ カミナリ  
紙なりにがんばっていることと、たんとすて。

⑪ ガラス製食品と食器  
↑裏地がかわいい

⑫ 積み木  
手触り柔らかい!!

⑬ バッグ用クリップ  
⑭ ホーチ



地下は多目的スペース

マジエルカは日本中の障害者施設で作られた雑貨を厳選して販売している。いわゆるセレクトショップなのだ。

自分が「これは良いなし」と思ったものがたまたま施設で作られたものだったんです。

元々、注文家具メーカーで働いていた藤本さん施設で作られた木のおもちゃが気に入って、バイヤー魂に火が!!

調べてみたら、良物をいろいろ作っている!! 知られていないのも、ついでに!!

施設で作られた物を買えるのは福祉ショップやバザーなど、限られた場所!

普通にお店で売ってみたい!!

販売企画書を作り、施設へ...

断られるかと、思いみや施設側も「売ってくれん人」を待っていた。

2011年9月「マジエルカ」を西荻窪に開店。2014年7月吉祥寺に移転。

マジエルカの雑貨は、主に「就労継続支援B型事業所」という施設で作られています。

全国の施設から、お店に並べたい品を作っている施設と交渉したり、作ってほしい品を提案したりします。

お店に並べたかったガラス製衣品は唯一岡山に!!

大人気のマスコット

作品が売れば、作者の工賃(給料)になります。

2014年の施設で支払われた全国月平均の工賃は14円!!

マジエルカでのお買い物は作っている人への応援になります。

平寄に物を売って福祉ショップも大事です。

吉祥寺でお店を開くメリットは?

「東京の吉祥寺で自分の作った物が売られている」ということが作者やその家族の自信につながるし、訪れる人も多く、障害者の底力を感じてもらえる所ですね。

この日のレジ担当の脇坂さん障害のあるお子さんを持つお母さん本でマジエルカのグッズを見かけ...

ネットでお店を調べてすぐに電話してボランティアスタッフになりました。

助成など受けていないので不況の昨今経営は大変ですが脇坂さんのように手伝ってくれる人も増えってきました。

お弁当箱のフタ板を焼いたイヤリング↓

おすすめのお織物のベルト

面白い絵の小皿

ゴージャス!

日本に今のところここだけのマジエルカ! 全国からお問い合わせが絶えず!

マジエルカで売りたい!

マジエルカさんみたいなお店をやりたい!

どうしてこのお店を?

質問の日を設けて直接お店で質問に答えられるそうです。

これからのマジエルカは?

お店以外でも施設のアドバイザーやセミナーなども行っています。いつか雑貨以外の施設で作ったもののデパートみたいな所ができると思います。

いずれば比がどこで普通に買える物がある世の中になると良いですね。

「マジエルカ」は「混ぜる」の造語。さまざまな人が関わり混ぜていく社会を願って付けられたそうです。まさにその名を表しているな〜と感ぜらる素敵なお店です!

↑アフロスライ人形